

平成11年

広報



たんごの國

No.2

—「安心」を支える消防をめざして—

秋号



ワア～ スケエ 水圧だ!!

8月4、5日の2日間、今年も峰山中学校から3名の生徒さんが峰山消防署を訪れ、消防署の勤務内容について体験学習を行いました。後日「ぼくも大人になったらこういう仕事をしたいです。ぼくは消防署の職員になれるようがんばりたいです。」という感想文が届きました。こんな感想を持ってくれたことをうれしく思います。

【体験学習の3名】

和田将大君（1年） 松川孝史君（1年） 嶋本祐志君（1年）

火事・救急・救助



局番なしの119へ
(携帯電話でも同じです)

~守ろう いのちと財産を!~

みんなで 防火管理



地域で積極的に取り組まれる消防器取り扱い訓練（峰山町字杉谷東地区 17区のみなさん）

火災は人ごと?

人類が初めて火を使い始めてから今日まで、火は私たちの生活に暖かみをもたらしてくれました。しかし、その反面、数え切れないほどの火災による悲劇も繰り返されています。人はその悲しみから多くのことを経験し、火の用心を怠らなければなりません。一つは消防法により義務づけられた事業所等での防火管理。そして、一方は個人で取り組む火事への「わが家の防火管理」です。この二つが相まって火災に強い、更には災害に強いコミュニティへつながります。一方で、消防署では不特定多数の人が集まる事業所等を立入検査したり、防火管理を訴えておりります。

ところで、今年九月三十日現在、丹後六町で発生した火災は十二件。そのうち建物火災が十件で、ほとんどどの火災が一般住宅から発生しています。

消防署でも防火座談会・消防実験講習会など、みな

さんと共に考える機会をつくっていますが、いふこまくつくなりません。どうすれば一般住宅の火災をなくすことができるかが大きな課題となっています。



消防用設備の点検風景（峰山町 特別養護老人ホーム はごろも苑）

事業所の努力

家庭で火の用心心をがけ
るよう、ガソリンスタン
ドなど危険物を取り扱う施
設や旅館・百貨店など多く
の人々が出入りする場所で
は、より一層の防火管理が
必要です。

そのため一定規模以上の事業所では防火管理者・危険物取扱者等の資格を持つ者を選任し、それらに見合った資格を積極的に取得させたり、消防用設備や危険物施設の維持管理などソフト・ハード両面にわたつて日頃の防災管理に努力されています。

ク」と呼んでいます。消防設備の維持管理が正に行われ、避難訓練などがしっかりと実施され、火災への備えが整っている一定規模以上の施設に対し消防本部が発行しています。現在、当消防組合では四十二の施設に交付し、九年連続交付が六施設あります。



定期的に取り組まれる避難訓練
(タガ浜町、ホテルリゾービアタガ浜)

旅行や買い物などでこのマークを目にした時は、防火管理に熱心に取り組んでおられる従業員の皆さんの日頃の努力に思いを馳せてみてください。

悲劇から生まれた
適マーケ

ホテルやスーパー、マーケットなどに掲げてあるこの



大宮町字周枳
松本かおるさん

“思わずヒヤッ！”

わが家には3人の子供がおり、最近子供達と料理を作ることも増えています。その中で、先日ヒヤッとすることがありました。

その日は子供達でおやつのホットケーキを作ろうとしていたのですが、テレビのマンガが始まると、フライパンを火にかけたまま別室でテレビに見入ってしまいました。

気が付いた私が慌てて火を止め、子供達に火の怖さを今一度教え、自らも火の用心を再確認しました。



佳松苑（網野町浜田市）
専務取締役
吉岡 修さん

“安心旅館を目指して”

冬場のカニシーズンを迎えると火気の使用が増えるため、厨房や客室には特に注意をはらっています。

まず、各階で防火担当者を決め、チェックインの前と帰られた後に必ず客室を確認。そして、消防訓練として従業員が少ない夜を想定した避難誘導訓練や、館内の消防設備を使った訓練を実施しています。

こうした取り組みの積み重ねによって、おいでいただくお客様に安心して泊まつていただける宿であるように、日々心がけています。



（お預防火に積極的に取り組んで
おられる皆さんにどんどんご登場
願うつむります。）

特 選

矢野友裕さん
やのともひろ
さん

田村小学校

全国火災予防運動 (秋季) 11月9日~15日
春季) 3月1日~7日

社会科の勉強で消防署を見学し、僕も火災予防に役立たせたいと思った。特選と見合った。絵を描いたのは、協力していただきました。特選と見合った。絵を描いたのは、協力していただきました。

佳 作

水口綾佳さん

吉原小学校

赤岩恵梨子さん

吉原小学校

古川沙織さん

吉原小学校

井垣知美さん

吉原小学校

五島章吾さん

新山小学校

尾野里佳さん

大宮第一小学校

梅田美咲さん

溝谷小学校

はどれもアイデア・着想が豊かで、表現力が高く、色彩感覚が豊富な作品でした。特に、矢野友裕さんの作品は、火の用心を願う気氛がわかりやすく、きちんと描いていました。また、色彩感覚が豊かで、筆触が上手く表現されています。他の作品も、各々の工夫がこもった素晴らしいものばかりでした。

審査員所感

審査員のみなさん

丹後地方教育委員会連絡協議会
教育長部会長（大宮町教育長）
小牧 重貴さん

京都府消防協会丹後支部長
(丹後町消防団長)
森口 茂樹さん

図画有識者
竹本 毅さん

写真家
白井 由美さん

応募特選と小学校を対象に防火の图画を募集します。これまでに4年間、毎年、4月から6月までの間に、次回の大会を実施する。矢野友裕さんを表彰しました。火災予防に役立たせた作品は防災ボトムです。

第5回火災予防啓発ポスターコンクール

年々増加する応募点数

入 選

小北志織さん

吉原小学校

山副宏介さん

島津小学校

新谷希哉さん

鳥取小学校

秋の火災予防運動

11/9(火)~11/15(月)

予防運動統一標語 あぶないよ ひとりぼっちにした その火

フォトキャッチ

FIRE PHOTO C.



消防士による“ぬいぐるみ防火寸劇”
(久美浜町海部保育所)



女子生徒7名が自主的に救命講習を受講
(久美浜高校)



大宮町森木地区「幼年消防クラブ」が行う火の用心の夜回り。ズーッと昔から続いているそうです。
3班で編成され、毎日、カチッ！ カチッ！ と順番で回っています。頭が下がります。



「やさか老人保健施設ふくじゅ」
業務開始前の防火管理体制を再チェック！



車椅子で煙中避難！！
(峰山共同作業所、消防署での避難体験)

